

平成28年度の主な事業報告

社会福祉法人鹿児島虹の福祉会

社会福祉事業

①介護事業

- ・施設介護では安全性を向上させる活動をさらに強め、事故や緊急入院を減らす取り組みをすすめました。ホームは一日平均が予算を下回りましたが下期は安定した展開となりました。ケアハウスでは協力医療機関のバックアップ体制を強めました。
- ・居宅介護事業は、利用者から選ばれる事業所づくりを事業運営の基本に据え利用者拡大の取り組みをすすめてきました。デイにじは利用者数が着実に増加していますが、デイ本町は前年実績を下回りました。ショートは一日平均利用数が予算にわずかに届きませんが前年を上回っています。ヘルパーは職員体制が充分確保できない状態のもとで利用者の件数減少で前年実績を大きく下回りました。
- ・介護サービスの質の向上を常に追求し、利用者の満足度を高め利用者拡大につながる取り組みをすすめました。介護サービス委員会準備会を設置し、介護過程の展開にそった検討がすすめられました。
- ・介護事業支援システムなどICT（情報通信技術）の活用について検討をすすめました。システム委員会を設置し、情報の共有化などの実施をめざしています。
- ・介護事業合計で月平均389.5件の利用がありました。

②保育事業

- ・「保育の質・安全性・満足度」をさらに向上させた保育活動を実践してきました。入園児同士の接触による外傷や食物アレルギーの発症等の事故が発生しましたが、原因分析と対策を強化し、施設の整備やマニュアルの見直し、研修等をすすめました。
- ・保護者への支援について、個別の相談対応を進めました。地域の専門機関等（保健センター、園医、行政）との積極的な連携をすすめています。近隣の施設にも呼びかけた子育て講演会を開催しました。

公益事業

- ・訪問入浴介護事業は、月平均4.3件、一日平均利用者数は1.1人でした。
- ・鹿児島市の委託を受けた訪問給食は、一日平均46.1食でした。

収益事業

なし